

広島市映像文化ライブラリー

アジア映画特集

●内 容／

アジア映画のフィルムアーカイブとして、アジア各国の多くの映画フィルムを収集保存している福岡市総合図書館。今回はそのコレクションの中から、2019年のアジアフォーカス・福岡国際映画祭で観客賞を受賞した『シヴァランジャンとふたりの女』（インド）や、同じく同賞を受賞した『トゥルー・ヌーン』（タジキスタン）などアジア映画の秀作8作品を上映します。

広島では、なかなか見る機会の少ないアジアの名画の数々をぜひご覧ください。

●期 間／3月19日(火)～3月29日(金) ※休映日あり

【シヴァランジャンとふたりの女】提供:福岡市総合図書館



特集・銀幕の中の子どもたち

●内 容／

今月は、子どもの成長を描いた作品や学校を舞台にした作品など、スクリーンの中で子どもたちが活躍する作品を特集します。有名な小説を映画化した『次郎物語』や『路傍の石』、子どもの描写を得意とした清水宏監督の『みかへりの塔』や『蜂の巣の子供たち』、子どもたちの姿がユーモラスに描かれる、小津安二郎監督の『お早よう』などを上映します。子どもたちの腕白ぶりや純真さを詩情あふれる映像で包み込む作品の数々。スクリーンに映し出される子供たちの世界をご鑑賞ください。

●期 間／3月1日(金)～3月31日(日) ※休映日あり

【絵の中のぼくの村】©1996 SIGLO



●住 所／広島市中区基町3-1 ●電話番号／082-223-3525 詳しくはホームページをご覧ください。 <http://www.cf.city.hiroshima.jp/eizou/>

☆利用方法／「広島市映像文化ライブラリー・広島市こども文化科学館プラネタリウム無料鑑賞券」を窓口でお渡しください。無料でご利用いただけます。(一人1回利用につき1枚限り有効です。)

☆対 象／会員と同居家族 ☆注意事項／必ず事業所番号・会員番号・会員氏名をご記入の上、ご利用ください。



Hiroshima
MOCA

広島市現代美術館

池田満寿夫(1934-1997)が亡くなって四半世紀がたちます。彼の版画作品がどれほど世界で評価され、彼が芸術家としての道をどれだけ情熱的に歩んだか、あらためて問いかけることには大きな意味があるでしょう。この展覧会では、没後四半世紀を経た、当館が所蔵する池田作品のうち、1950年代から1966年頃までの作品とともに、池田が影響を受け、また交友のあった作家の作品により、当時、世界から注目された彼らの版画と油絵画を振り返ります。

展覧会名 とびたつとき：池田満寿夫とデモクラートの作家

会 期 開催中～3月17日(日)

観 覧 料	一 般	1,100円	→	770円
	大学生	800円	→	560円
	高校生・65歳以上	550円	→	390円
	中学生以下			無料

※大学生・高校生又は65歳以上が使用する場合、学生証又は公的証明書を掲示してください。



池田満寿夫《姉妹たち》1965
広島市現代美術館蔵

会 場 広島市現代美術館 広島市南区比治山公園1番1号 ☎082-264-1121
https://www.hiroshima-moca.jp/exhibition/masuo_ikeda



対 象 会員と同居家族 開館時間 10:00～17:00(入場は閉館の30分前まで)

休 館 日 月曜日

☆利用方法／「広島市現代美術館入館補助券」を窓口でお渡しください。上記観覧料でご利用いただけます。(一人1回利用につき1枚限り有効です。)

☆注意事項／必ず事業所番号・会員番号・会員氏名をご記入の上、ご利用ください。